

問3 出生率の低下の原因 (複数回答可)

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① 子どもを育てるには経済的に負担が大きいため	643	56.0	58.3	54.6
② 結婚しない人や晩婚の人が増えたから	636	55.4	55.8	55.3
③ 仕事と子育ての両立が難しいから	528	46.0	40.8	49.5
④ 子育てを支援する制度や環境が十分ではないから	307	26.7	32.1	23.4
⑤ 収入が少ないから	263	22.9	27.8	20.0
⑥ 子どもを育てるには肉体的、精神的負担が大きいため	250	21.8	18.8	23.7
⑦ 子どもより自分自身や夫婦の生活を重視する考えが強くなっているから	206	17.9	18.6	17.7
⑧ 出産や育児に対する男性(夫)の理解や協力が足りないから	146	12.7	6.7	16.5
⑨ 少ない子どもに十分な教育を受けさせた方がよいから	54	4.7	2.5	6.2
⑩ 子育てに自信がないから	31	2.7	2.2	3.0
⑪ 住宅事情が悪いから	15	1.3	2.0	0.7
⑫ その他	44	3.8	5.4	2.9
⑬ わからない	17	1.5	1.6	1.4

問3では、出生率低下の原因を聞いています。一番多い回答が経済的負担で、現在の経済状況を反映した結果となりました。第3位の「仕事と子育ての両立」、第4位の「子育て支援の環境」については、男女共同参画社会が推進されれば、一部は改善される可能性があるのではないのでしょうか。例えば、子育て中の人には子どもの病気などの時は、すぐに帰ることができる環境を職場でつくることや、出産・育児の時は仕事を休むことができ、希望すればすぐに復帰できる環境を整えることが、「子どもを生んでも大丈夫」という意識につながると思います。そのためには、制度をつくるなどの企業努力も必要ですが、働く人たちがお互いを尊重し、責任を分かち合うことも、環境改善の一因になるのではないのでしょうか。

問4 女性の人権が尊重されていないと感じるとき (複数回答可)

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① 男女の固定的な役割分担意識	586	51.0	48.0	53.0
② 職場における男女の待遇の違い	536	46.7	45.5	47.5
③ セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)	394	34.3	34.3	34.6
④ 女性ということで意見を無視する行為	319	27.8	23.1	31.0
⑤ 配偶者や恋人などからの暴力	250	21.8	20.4	22.6
⑥ 売春・買春、援助交際など	235	20.5	14.8	24.3
⑦ 女性に対するストーカー行為(つきまとい行為など)	218	19.0	18.6	19.2
⑧ 女性のヌード写真や映像の商品化など	159	13.9	8.1	17.7
⑨ 特に感じることはない	126	11.0	14.3	9.0
⑩ 女性の容姿などを競うコンテスト	115	10.0	8.1	11.1
⑪ わからない	56	4.9	4.9	4.6
⑫ その他	15	1.3	1.8	1.0

問4では、女性の人権尊重の課題を聞いています。やはり第1位の「男性は仕事、女性は家事・育児」のような固定的な性別役割分担意識が課題になっているようです。その他、待遇やセクハラ、女性軽視など解決すべき問題が多いのも現状です。

合志市の男女共同参画 ～あなたの意識は～ 男女共同参画に関する市民意識調査



●問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班 ☎248-1112

本市では、昨年9月に市民3,000人を対象に男女共同参画に関する市民意識調査を実施し、1,148通の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

市民の皆さんは男女共同参画について、どのような意識を持っているのでしょうか。調査結果の一部をお知らせします。

男女共同参画社会とは

性別に関わりなく、お互いを尊重し、責任を分かち合いながら、地域や家庭、職場などの場で対等に参画し、その個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。

▶調査の概要

- ・調査対象 18歳以上の市民3,000人
(住民基本台帳に基づく無作為抽出)
- ・回収数 1,148通(男446人、女691人、不明11人) 回収率 38.3%
- ・調査期間 令和2年9月1日～15日
- ・調査方法 郵送調査

回答者年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
人数(人)	20	68	142	227	198	324	160	9	1,148
割合(%)	1.7	5.9	12.4	19.8	17.3	28.2	13.9	0.8	100

問1 「男は仕事、女は家庭」など性別で役割を固定した考え

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① 同感する	32	2.8	4.9	1.4
② 同感しない	764	66.6	62.1	70.2
③ どちらともいえない	323	28.1	30.5	26.5
④ わからない	16	1.4	1.8	1.2
⑤ 無回答	13	1.1	0.7	0.7
合計	1,148	100	100	100

問1では、いわゆる「性別役割分担意識」について聞いています。「同感しない」が6割を超えていますが、「どちらともいえない」も約3割に近い数字となっています。「できる人が、できる時に、できるだけ」を実践できれば、「役割を固定する」課題は解決するのではないのでしょうか。

問2 仕事と生活のバランス

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① よくとれている	148	12.9	16.8	10.3
② まあとれている	654	57.0	52.7	60.1
③ どちらともいえない	164	14.3	15.5	13.6
④ あまりとれていない	122	10.6	9.6	11.3
⑤ まったくとれていない	41	3.5	4.3	3.0
⑥ 無回答	19	1.7	1.1	1.7
合計	1,148	100	100	100

問2では、ワーク・ライフ・バランスについて聞いています。「よくとれている」「まあとれている」を合わせると、約7割になりますが、「どちらともいえない」「あまりとれていない」「まったくとれていない」も約3割います。男女共同参画社会が推進すれば、性別に関わりなく、お互いが責任を分かち合い、生活スタイルに合った仕事・家事・育児の時間の使い方ができるのではないのでしょうか。